

「生徒の学びに向かう力を育む御成門中学校」-自ら充実した学校生活を創造し世界に発信する-



御成門だより

教育目標

「豊かな心とたくましい体をもつ生徒」「自ら計画し進んで学習する生徒」「他人の立場を尊重し仲良く協力できる生徒」

〒105-0003 港区西新橋3-25-30 電話03-3436-3553 FAX03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-tky.ed.jp

令和4年12月1日発行

第8号

発行責任者

港区立御成門中学校

校長 佐藤 太



時(とき)の流れ

校長 佐藤 太

12月(師走)。芝公園の木々が見事な紅葉です。生徒達は、色とりどりの木々を感じながら学習に取り組んでいます。特に3年生の教室を覗くと授業に向かう姿に真剣さが増し、受験が近づいてきた空気を感じます。先週の日曜日は、3年生は都立高校入試にかかるスピーチングテストも受けたばかりです。

今年もあと一ヶ月になりました。年の瀬迫る12月になると、毎年、「もう一年が経つのか、早いなあ」という声が、巷で聞こえています。私は、御成門中学校に5年目となりましたが、着任1年目より2年目、昨年より今年と年を追うごとに、1年単位の時の流れが早く感じている実感があります。^{さかのぼ}遡ると私は、40代の時は今の50代よりもゆっくり時間が流れ、さらに30代の時は40代よりもゆっくり時間が流れ、学生時代、子供時代は、「もっと、もっとゆっくり時間が流れていたなあ」という感覚が残っているのです。

時間について調べてみると、このように年々年を追うごとに時間が早く感じる現象を「ジャネーの法則」と呼ぶのだそうです。これは19世紀のフランス哲学者ジャネーによって紹介された法則で、物理的に時間自体のスピードが変化することはないのですが、人間には「記憶される年月の長さは年少者にはより長く、年長者では短く感じる」という感覚です。簡単に言えば、若ければ若いほど時間の経過は遅く感じ、年を取れば取るほど時間の経過が早いということになります。ジャネーの法則では、時間が過ぎる速さは年齢に比例して加速していく、1年の長さを「50歳の人にとっての1年は人生の50分の1。5歳の子供にとっての1年の長さは人生の5分の1。」に感じると説明しています。要するに、一年という時間は、自分の年齢分の1と数学的に捉えていて、年を取るほど、1年の比重が段々と小さくなる感覚をもつという訳です。

また、時間を長く感じたり、短く感じたりするのには、1年の比重以外にも要因があると言われています。それは「経験」です。時間が早く過ぎるのは、既に経験したことが増えているからです。例えば、初めての場所に一人で行った時、行きの道のりでは、初めての道や景色をみて進むために時間が長く感じるのに対して、帰りの道のりは、一度歩いてきた道や見た景色だから頭で処理されているために短く感じます。年齢が若い方は新鮮な経験や初めての経験が多く、たくさんの出来事があつて時間が長いと感じるのに対して、年齢を重ねていくと多くの経験を積んでいて、それまでの経験によって処理できることが多くなった分、新鮮な感覚ではなく、新しく出来事も少なくなり、時間が過ぎるのが早い、時間が短いと感じるというのです。

さて、皆さん、2022年を長く感じたでしょうか?短く感じたでしょうか?ジャネーによると若いときは、何事も新鮮な出来事や初めてのチャレンジが多く、一年は長く感じるということです。学校行事や諸活動がコロナによる制限から戻って増えてきた分、新鮮なこと、頑張れたことも多くあったと思います。学年が一つずつ上がり、初めてのことやチャレンジすることは大変ではありますが、充実した時間を過ごしているとも言えます。私には、充実感をもちらながら時の流れを長く感じとれる中学生時代は、うらやましく思えます。

今年の残り一ヶ月で、自分の取り組んできた行動や活動はどうであったのか、反省点や改善点、自分が成長できる点などを振り返ってみることが大事です。そこから新たな目標やステップに繋げてもいいけます。12月は1年を締めくくり、2学期を締めくくるにふさわしい日々をしっかりと過ごし、頑張ってください。

今月は三者面談もあり、冬休みは生徒もご家庭や地域に戻ります。保護者・地域の皆様、宜しくお願ひします。

【英語発表会（11月9日（水））】

港区教育委員会主催の英語発表会があり、各学校の代表の生徒がスピーチをしました。本校からは2名参加し、素晴らしいスピーチを披露しました。その結果、本校の3年生オルーフィオーレさんの題名『Unconscious Bias（無意識の思い込み）』のスピーチが港区で第1位となり、東京都中学校英語発表会に出場することが決まりました。



【避難訓練（11月11日（金））】

地震や火災から身を守るためにの訓練を芝消防署防災安全係の皆様と実施しました。全員が避難訓練後に、初期消火訓練、煙体験、地震に関する知識をDVDで学び、貴重な体験をしました。



初期消火訓練

煙体験

【コミュニティスクール学校運営協議会（11月22日（火））】

ランチルーム及び会議室で、第3回学校運営協議会が開かれました。今年度の教育課程、学校評価、生徒の授業評価、教職員の任用に関する内容を話し合いました。

委員の皆様からは貴重なご意見を伺うことができました。第4回学校運営協議会は2月28日（火）を予定しています。



コミュニティスクール学校運営協議会

生徒総会

【生徒総会（11月25日（金））】

昨年度に引き続き、体育館で生徒総会が行われました。生徒総会は生徒会役員による開会の言葉から始まり、生徒会長挨拶、議長団選出・議長団挨拶へと議事が進行しました。その後、各委員会からの活動目標及び活動方針・内容の提案があり、質疑応答が行われました。活発な討議が行われました。

【PTA自然農園体験教室（11月26日（土））】

3年ぶりに、本校PTA主催による自然農園体験教室を開催しました。はぐるま稗原農園では竹の伐採と竹細工の体験、昼はハーブを使ったピザやトマトカレーなどを半自炊して食べました。午後は野菜の収穫などをして、楽しいひとときを過ごし、有意義な体験をしました。



【御成門中生の活躍】

○ソフトテニス部

男子団体戦 東京都ベスト32

○「全国中学生人権作文コンテスト」

2年 柳下 実加 「本当の多様性」

○「税についての作文」

芝納税貯蓄組合連合会 会長賞 入選

3年 外山 結惟、オルーフィオーレ

○「税の標語」

芝間税会 入選

1年 伊藤 沙樹、鄭 有里

○第65回東京都児童生徒発明くふう展

優秀賞 2年 西川 英

入選 2年 濱田 宗剣、丸 凪咲、

山上ゆき奈、橋本 晟那

3年 鈴木 雅人

*学校賞を受賞

【12月の予定】

1日(木) 第2回三者面談始

5日(月) 全校朝礼・安全指導

子どもサミット

6日(火) 音楽鑑賞教室（3年）

卒業アルバムクラス写真（3年）

8日(木) 学校保健委員会

9日(金) 第2回三者面談終

12日(月) 専門委員会

13日(火) 中央委員会

15日(木) 入試相談開始日

16日(金) ふれあい講習会（1年）

認知症サポーター養成講座（2年）

17日(土) MINATOリズムダンスフェスタ

19日(月) 生徒朝礼、避難訓練

22日(木) 美化活動

23日(金) 終業式

26日(月) 冬季休業日始

29日(木) （学校閉庁日始～1月3日終）

1月10日(火) 始業式